

千葉大学病院で絨毛癌の治療を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年4月8日
産科・婦人科

産科・婦人科では、絨毛癌に対する治療を行っており、以下に示す方の診療情報などを、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に診療情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1986年1月1日から2024年6月30日を千葉大学病院治療開始日として、絨毛癌の治療を受けられた方

1. 研究課題名

絨毛癌脳転移例の後方視的検討

2. 研究期間

2024年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

絨毛癌は希少疾患です。寛解する場合がありますが、脳転移のある患者さんは、一般的には治療が難しいとされています。本研究の目的は当科で絨毛癌治療を受けた脳転移のあった患者さんの診療経過、治療成績を詳細に検討し明らかにすることです。

患者さんの過去の診療録から情報を収集・解析し、学会・論文等で発表します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている

患者背景：治療開始時の年齢、先行妊娠、最終妊娠からの期間、hCG（ヒト絨毛性ゴナドトロピン）値、転移の部位、数、大きさ、それまでの治療経過

脳転移：診断契機、転移の数、部位、診断の時期、脳転移に対する治療法、有害事象

治療の経過：化学療法レジメンの種類、治療サイクル数、有害事象

治療結果：化学療法変更有無、寛解、再発有無

患者の現況：生存・死亡

5. 研究組織

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：千葉大学医学部附属病院 産科・婦人科 教授 甲賀かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部産婦人科学で厳重に保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院産科・婦人科

医師 中村名律子

043(222)7171 内線 5312